# 三育学院大学教員組織

## 2016 年度

**看護学部・看護学科**

| | | |
|---|---|---|
| 学　長 | 教　授 | 東出　克己 |
| 副学長 | 教　授 | 山地　　正 |
| 学部長 | 教　授 | 本郷　久美子 |
| 学科長 | 教　授 | 後藤　佳子 |
| 学科長補佐 | 准教授 | 山田　亜美 |
| | 教　授 | 浦橋　久美子 |
| | 教　授 | 黒須　　潤 |
| | 教　授 | 篠原　清夫 |
| | 特任教授 | 海老澤のり子 |
| | 特任教授 | 佐藤　壽子 |
| | 特任教授 | 鶴岡　章子 |
| | 臨床教授 | 平野美理香 |
| | 臨床教授 | 村上　　寛 |
| | 客員教授 | 新原　　豊 |
| | 准教授 | 市川　光代 |
| | 准教授 | 今野　玲子 |
| | 准教授 | 松本　浩幸 |
| | 准教授 | 山本　　理 |
| | 講　師 | 遠田きよみ |
| | 講　師 | 近藤かおり |
| | 講　師 | 新妻　規恵 |
| | 講　師 | 緑川　喜久代 |
| | 講　師 | 山田よしみ |
| | 特任講師 | 篠原　良子 |
| | 助　教 | 小川真奈美 |
| | 助　教 | 小田　朋子 |
| | 助　教 | 山口　道子（国内研修） |
| | 特任助教 | 菅沢　由美 |
| | 助　手 | 松本　文美 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | ひがしで　かつみ<br>東出　克己 |
| 所属・職位 | 三育学院大学　教授（学長）<br>三育学院カレッジ　教授（校長） |
| 学位 | 神学博士（Th.D） |
| 担当科目 | 【看護学科】アセンブリーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ<br>【神学科】礼拝学、説教学、説教実習、牧会実習Ⅱ、アセンブリーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ |
| 専門分野 | 実践神学（礼拝学、説教学） |
| 所属学会 | Societas Liturgica　日本基督教学会　日本ベジタリアン学会 |
| 研究業績他 | **論文：**<br>Meanings of the Sabbath for Worship in the Seventh-Day Adventist Church（Th. D Dissertation 2010）<br>Advantage and Disadvantage of Lectionary Preaching,『三育学院短期大学紀要』第 35 号（2006，単著）<br>**論説：**<br>「高等教育の将来を考える」『アドベンチストライフ』6 月号（2014，単著）<br>その他 |
| 社会貢献 | 公益信託アドラ国際援助基金　運営委員<br>信徒伝道師養成コース講師（東京・名古屋）<br>大多喜町国際交流協会副会長<br>大多喜町総合戦略推進会議委員 |
| その他 | 学校法人三育学院　常任理事・評議員<br>医療法人財団アドベンチスト会　理事<br>神戸アドベンチスト病院　理事<br>学校法人広島三育学院　理事<br>宗教法人セブンスデー・アドベンチスト教団　理事<br>千葉県私立大学短期大学協会監事 |
| 作成日時 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | やまじ　　ただし<br>山地　　正 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 教授（副学長） |
| 学位 | Master of Arts in Religion |
| 担当科目 | 【看護学科】キリスト教概論 B、歴史、現代とキリスト教<br>【神学科】神学書講読 I、II、聖書教授法、コミュニケーション論 |
| 専門分野 | 組織神学、宣教学、神学史 |
| 所属学会 | Adventist Theological Society<br>Adventist Society for Religious Studies |
| 研究業績他 | **著書：**<br>『読む心のサプリ』（福音社，2006，単著）<br>『希望の讃美歌』（福音社，2006，編集実務委員長） |
| 社会貢献 | |
| その他 | 宗教部長・チャプレン<br>地域連携室・COC 室長 |
| 作成日時 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | ほんごう　くみこ<br>本郷　久美子 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 教授（学部長） |
| 学位 | 看護学修士 |
| 担当科目 | 看護学概論、スピリチュアルケア |
| 専門分野 | 基礎看護学　看護におけるスピリチュアルケア論 |
| 所属学会 | 日本臨床死生学学会　東京スピリチュアル研究会　日本看護診断学会<br>日本看護教育学会　日本看護科学学会　日本看護教育学学会<br>シグマセタタウ・インターナショナル |
| 研究業績他 | **著書：**<br>『ロイ適応看護理論の理解と実践』(医学書院，2016，共著)<br>『おしえて本郷先生!看護診断 Q&A』（医学映像教育センター，2009，単著）<br>**翻訳：**<br>ロザリンダ・アルファロ-ルフィーヴァ著『基本から学ぶ看護過程と看護診断[第 7 版]』（医学書院，2012，監訳）<br>シスター C.ロイ著『ザ・ロイ適応看護モデル[第 2 版]』（医学書院，2010，共訳）<br>Medical Audio Visual Communication Inc.制作『看護のためのスピリチュアルケア』（医学映像教育センター，2008，DVD 全 8 巻，日本語訳監修）<br>エリザベス J.テイラー著『スピリチュアルケア』（医学書院，2008，共訳）<br>**論文：**<br>「レジリエンス―看護実践への適用に関する課題―」『三育学院大学紀要』第 6 巻第 1 号（2014，共著）<br>「自閉症スペクトラム障害の児を持つ母親の苦悩とそれを乗り越えていく力(レジリエンス)についての文献的研究」『三育学院大学紀要』第 6 巻第 1 号（2014，共著）<br>「わが国の看護領域におけるスピリチュアリティに関連する文献検討」『三育学院大学紀要』第 2 巻第 1 号（2010，共著）<br>「看護学実習の目標達成に必要不可欠な教授活動の解明 ： 質的研究 3 件のメタ統合を通して」『看護教育学研究』（2005，共著）<br>その他 |
| 社会貢献 | 第 17 回日本看護診断学会学術大会長(2011)　日本看護診断学会理事・評議員　シャローム東久留米にてボランティア活動 |
| その他 | 東京衛生病院看護部研究講師 |
| 作成日時 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | ごとう　よしこ<br>後藤　佳子 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 教授（学科長） |
| 学位 | 看護学修士・教育学修士 |
| 担当科目 | 看護学概論、看護技術概論、看護技術各論Ⅱ、看護教育学、<br>基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、基礎学習セミナー、卒業研究 |
| 専門分野 | 基礎看護学、看護教育学 |
| 所属学会 | 日本看護学会　日本看護技術学会　日本看護診断学会<br>日本看護教育学学会　教育システム情報学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「看護管理実習における学生の学び」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>「教授活動自己評価尺度―看護学講義用―の開発：自律的なファカルティデベロップメントに向けて」『千葉看護学会会誌』第 21 巻第 1 号（共著）<br>「三育学院大学看護学部カリキュラム評価－第1期卒業生および教員からの評価－」『三育学院大学紀要』第 5 巻第 1 号（2013，共著）<br>「学生が学んだスピリチュアルケアの要素―科目『スピリチュアルケア』の学生レポートの分析から―」『三育学院大学紀要』第 4 巻第 1 号（2012，共著）<br>「看護学の講義を展開する教員の教授活動の解明」『看護教育学研究』第 9 巻第 1 号（2010，共著）<br>「看護学生が実習前に感じる不安に関する研究―基礎看護実習と領域別実習の比較―」『三育学院短期大学紀要』第 34 号（2005，共著）<br>「国家試験に対する不安とその対策―看護学生へのグループ指導―」『三育学院短期大学紀要』第 33 号（2004，共著）<br>「看護方法論教育内容の検討―看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ―」『三育学院短期大学紀要』第 31 号（2002，共著）<br>**学会発表：**<br>「看護学の講義を展開する教員の教授活動の解明－看護実践の基盤となる講義に焦点を当てて－」『日本看護教育学会第 19 回大会』（2009，共同）　その他 |
| 社会貢献 | |
| その他 | |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | やまだ　あみ<br>山田　亜美 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 准教授（学科長補佐） |
| 学位 | 保健学修士 |
| 担当科目 | 人体の形態と機能Ⅰ・Ⅱ 、成人看護学実習Ⅱ、総合看護実習、<br>卒業研究 |
| 専門分野 | 予防医学、糖尿病をはじめとする生活習慣病の疾病管理など |
| 所属学会 | 日本公衆衛生学会　日本生活習慣病学会　日本高血圧学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「領域別看護学実習におけるグループ学習の形態が学生におよぼす影響について―第 1 報　固定グループで学習した学生を対象に―」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>「A 看護大学における国家試験合格に向けての取り組みとその結果について―2014 年度国試対策とその結果から―」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>「高齢者入院患者のせん妄を予防・改善する看護技術における文献研究」『三育学院大学紀要』第 5 巻第 1 号（2013，共著）<br>**学会発表：**<br>「正座が日常生活に及ぼす影響について―茶道のポジショニングに視点を当てて―」『第 49 回日本成人病（生活習慣病）学会』（2015，共同）<br>「特定保健指導対象者における健康行動自己効力感尺度改訂版の信頼性と妥当性の検討」『日本公衆衛生学会第 68 回大会』（2009，共同）<br>「『健康行動自己効力感(健康行動 SE)尺度』の開発とその有用性の検討」『第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会』（2008，共同）<br>「保健指導プログラムにおける HBSESII 活用の取り組み」『日本公衆衛生学会大会第 67 回大会』（2008，共同）<br>その他 |
| 社会貢献 | IT 企業の開発する保健サービス事業および研究開発部門における<br>コンサルテーション |
| その他 | 茶道 表千家資格者 |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | うらはし　くみこ<br>浦橋　久美子 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 教授 |
| 学位 | 修士（学術） |
| 担当科目 | 地域看護学概論、公衆衛生看護学原論、公衆衛生看護活動展開論、<br>公衆衛生管理論、公衆衛生看護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、地域看護学実習、<br>総合看護実習、基礎学習セミナー、卒業研究 |
| 専門分野 | 公衆衛生看護学 |
| 所属学会 | 日本公衆衛生学会　日本看護科学会　日本災害看護学会<br>日本在宅ケア学会　日本老年社会科学会　日本在宅看護学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「三育学院大学の看護学教育を振り返る―先輩教員へのインタビューから―」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>「高齢者の在宅生活支援のためのニーズ把握 : 事例検討会における見取り図の活用」『リハビリテーション連携科学』第 16 巻第 2 号（2015，共著）<br>「東日本大震災時の他地域住民への支援における保健師の困難―他地域からの避難住民への支援を経験した被災地保健師の語りから―」『茨城キリスト教大学看護学部紀要』第 6 巻 1 号（2015，共著）<br>「災害時活動において保健所保健師と市町村保健師が効果的な連携をするための要因」『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，共著）<br>「A 町における高齢者の生活実態と精神的自立性」『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，共著）<br>「東日本大震災における保健所および市町村保健センター保健師の活動の困難性」『保健師ジャーナル』第 70 巻第 9 号（2014，共著）<br>「東日本大震災時の A 県内の市町村における他地域住民への保健師活動の実態」『日本災害看護学会誌』第 15 巻第 3 号（2014，共著）<br>「東日本大震災時の保健師活動の実態と保健師経験期間の関連」『茨城キリスト教大学看護学部紀要』第 5 巻第 1 号（2014，共著）<br>**学会発表：**「在宅支援ニーズの多角的具体的把握方法 1～2」『第 74 回日本公衆衛生学会総会』（2015，共同）　その他 |
| 社会貢献 | 大多喜町生活圏域ニーズ調査の調査データ分析（大多喜町健康福祉課介護保険係・COC 委員会） |
| その他 | 茨城キリスト教大学非常勤講師 |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | くろす　　じゅん<br>黒須　　潤 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 教授 |
| 学位 | 経済学修士 |
| 担当科目 | 経済学、情報機器特講、情報処理演習Ⅰ・Ⅱ、会計学Ⅰ・Ⅱ、<br>情報機器特講、基礎学習セミナー |
| 専門分野 | 金融経済学、情報学 |
| 所属学会 | 日本金融学会　統計研究会　日本地方自治研究学会<br>教育システム学会 |
| 研究業績 | **著書：**<br>「グローバルイシュー①EU 金融危機」『グローカル財政論』（税務経理協会，2012，共著）<br>**論文：**<br>「インターネットビジネスについて」『三育学院短期大学紀要』 第 28 号（1999，単著）<br>**学会発表：**<br>「地方ローカル線（いすみ鉄道）の取り組みと今後について」『日本自治研究学会　関東部会』（2015，単独）<br>その他 |
| 社会貢献 | 大多喜町情報公開審議会審議員（会長）<br>日本地方自治研究会理事 |
| その他 | アドミッションオフィス部長<br>図書館長 |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | しのはら　すがお<br>篠原　清夫 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 教授 |
| 担当科目 | 【看護学科】社会学、保健医療社会学、統計学、保健統計演習、<br>情報科学、保健医療福祉論、基礎学習セミナー、卒業研究<br>【神学科】社会学 1・2、牧会社会学、統計学 |
| 学位 | 教育学修士・Doctor of Education in Religious |
| 専門分野 | 社会学、社会調査法 |
| 所属学会 | 日本社会学会、日本教育社会学会、日本学校教育学会、日本被害者学会、日本看護研究学会、日本助産学会 |
| 研究業績他 | **著書：**<br>『現代社会学事典』（弘文堂，2012，分担執筆）<br>『社会調査の基礎』（弘文堂，2010，編著）<br>**論文：**<br>「医療系大学における社会学研究の利点と困難性」『人間科学』第 33 巻第 2 号（2016，単著）<br>「社会的排除の認識と構造―看護大学生のホームレスに対するイメージと受容度―」『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，単著）<br>「A 町における高齢者の生活実態と精神的自立性－」『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，共著）<br>「精神科保護患者の退室に関する看護師の認識―退室時期の判断に影響する要因に焦点をあてて―」『佐久大学看護研究雑誌』7 巻 1 号（2015，共著）<br>「パネル・データを利用した個人の意識の変化の測定」『茨城大学教育学部紀要（人文・社会科学，芸術）』第 63 号（2014，共著）<br>「回顧的回答における自尊感情バイアスについて」『茨城大学教育学部紀要（人文・社会科学，芸術）』第 63 号（2014，共著）<br>その他 |
| 社会貢献他 | 大多喜町生活圏域ニーズ調査データ分析（大多喜町健康福祉課介護保険係・地域連携[健康支援]2014） |
| その他 | 専門社会調査士（社会調査協会認定，2005）<br>研究促進・支援室長、研究倫理教育責任者 |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | えびさわ　　のりこ<br>海老澤　のり子 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 特任教授 |
| 学位 | |
| 担当科目 | 小児看護学概論、小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ、小児看護実習、<br>総合看護実習、卒業研究 |
| 専門分野 | 小児看護学 |
| 所属学会 | 日本小児看護学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「小児看護技術の習得状況からの教育方法の検討－学生の技術の習得に対する自己評価から－」『東京女子医科大学看護短期大学紀要』第 18 号（1996，共著）<br>「小児看護学における[体験を通して身につける技術]の位置づけの検討経験状況と学生の自己評価から」『東京女子医科大学看護短期大学紀要』第 17 号（1995，共著）<br>その他 |
| 社会貢献 | |
| その他 | |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | さとう　としこ<br>佐藤　壽子 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 特任教授 |
| 学位 | 学士 |
| 担当科目 | 地域看護方法論、家族看護学、在宅看護論、対象別支援技術論、<br>総合看護実習、卒業研究 |
| 専門分野 | 地域看護学、公衆衛生看護学 |
| 所属学会 | 日本地域看護学会<br>聖路加看護学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「地域看護学専攻科生の共感性に関する研究―多次元共感尺度を用いて試みる―」『三育学院短期大学紀要』第 35 号（2006，共著）<br><br>**学会発表：**<br>「要介護者の生活支援を目指す保健師活動－要介護認定者の訪問から－」『平成 21 年度千葉県保健活動業務研究』（2010，共同）<br>「短期大学専攻科における家庭訪問の学び－実習日誌・訪問記録からの分析－」『第 12 回日本地域看護学会学術集会』（2009，共同）<br>「地域診断を踏まえた保健師活動－介護保険認定者分析から－」『第 12 回日本地域看護学会学術集会』（2009，共同）<br>「保健師学生への家庭訪問技術指導のあり方－学生による授業評価の分析結果から－」『第 31 回全国地域保健師学術研究会』（2009，共同） |
| 社会貢献 | 大多喜町立西中学校思春期教室講師（2007-2010）<br>勝浦市立興津中学校思春期教室講師（2010-2014）<br>茂原市長生郡介護支援専門員研修会講師（2013） |
| その他 | |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | つるおか　しょうこ<br>鶴岡　章子 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 特任教授 |
| 学位 | 看護学博士 |
| 担当科目 | 国際看護論、国際保健医療問題、保健医療福祉行政論、<br>看護研究の基礎、地域ケアシステム論 |
| 専門分野 | 地域看護、公衆衛生看護、国際看護 |
| 所属学会 | 日本公衆衛生学会　日本地域看護学会　日本看護科学学会　日本国際保健医療学会　千葉看護学会　文化看護学会　国際看護研究会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「A 町における高齢者の生活実態と精神的自立性」『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，共著）<br>「都市近郊における地域の文化を考慮した生活習慣病予防の保健指導」『日本地域看護学会誌』第 16 巻第 1 号.（2013，共著）<br>「精神的自立性と達成動機からみる看護大学生の特性－A 看護大学における看護基礎教育への示唆－」『三育学院大学紀要』第 5 巻第 1 号（2013，共著）<br>「科目の統合を目指し実践した授業の取り組み－『保健医療と福祉の統合Ⅱ』の実際および学習の還元」『淑徳大学看護学部紀要』第 3 巻（2011，共著）<br>「在日フィリピン女性の妊娠、出産および育児に伴うジレンマに関する研究枠組みの開発」『千葉看護学会会誌』第 14 巻第 1 号（2008，単著）<br>**学会発表：**<br>「系列の国際協力機関と連携して行う国際看護実習の実際とその成果」『国際看護研究会第 18 回学術集会』（2015，共同）<br>Dilemmas faced by Filipino women living in Japan regarding pregnancy, childbirth, and child-rearing and the nursing assistance provided by Public Health Nurses, *The 2nd Japan-Korea Joint Conference on Community Health Nursing*.（2011）　その他 |
| 社会貢献 | 夷隅地域・職域連携推進協議会委員<br>千葉県国保連合会夷隅支部保健事業研究会講師 |
| その他 | 茨城キリスト教大学非常勤講師　他 |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | いちかわ　みつよ<br>市川　光代 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 准教授 |
| 学位 | 博士（医療福祉学） |
| 担当科目 | 老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、老年看護学実習、<br>基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、総合看護実習、卒業研究 |
| 専門分野 | 老年看護学 |
| 所属学会 | 日本在宅ケア学会　日本保健医療福祉連携教育学会<br>ナイチンゲール KOMI ケア学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「看護学生の高齢者イメージ―老年看護学概論の授業を通して明らかになった点―」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>「緩和ケア病棟実習における学生の学びの成果―実習記録からの分析―」『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，共著）<br>「軽費老人ホーム居住者が行う認知症デイ利用者との交流支援活動についての一考察」『国際医療福祉大学学会誌』第 18 巻第 2 号（2013，共著）<br>『軽費老人ホーム居住者が行う認知症高齢者との交流支援活動を通して高齢者支援の在り方を考える』（2012，博士論文）<br>「軽費老人ホーム居住者の入居の経緯と適応過程」『日本在宅ケア学会誌』第 13 巻第 2 号（2010，共著）<br>『軽費老人ホーム居住者の入居の経緯と適応過程についての一考察』（2009，修士論文）<br>「自立施設における認知症ケアの実践」『福祉サービス研究会誌』(2006)<br>その他 |
| 社会貢献 | 軽費老人ホーム第 3 者委員・健康講座（2011-）<br>高齢者の相談業務<br>特別養護老人ホーム職員研修の講師（2011-）<br>都立高等学校福祉コース選択学生の講師<br>大多喜町立老人ホーム ボランティア（外出支援） |
| その他 | 実習病院での看護研究協力<br>他病院での看護研究協力 |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | こんの　れいこ<br>今野　玲子 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 准教授 |
| 学位 | 修士（看護学） |
| 担当科目 | 成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、<br>看護技術各論Ⅲ（ヘルスアセスメント）、基礎学習セミナー、卒業研究 |
| 専門分野 | 成人看護学　急性期看護　フィジカルアセスメント　看護診断 |
| 所属学会 | 日本看護科学学会　日本看護診断学会<br>Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing |
| 研究業績 | **著書：**<br>『看護理論―理論と実践のリンケージー看護研究の成果に基づく理論を実践しようー』（ヌーヴェルヒロカワ社，2006，分担執筆）<br>**論文：**<br>「術後に集中治療室へ入室した成人患者の認識」『三育学院大学紀要』第 4 巻第 1 号（2012，単著）<br>「基礎看護教育における看護診断－第 13 回日本看護診断学会学術大会ワークショップ報告－」『三育学院短期大学紀要』第 37 号（2008，共著）<br>「看護学科における教育目標の到達度－学生の自己評価を通して－」『三育学院短期大学紀要』第 34 号（2006，単著）<br>「情意領域を育てる－情意領域の自己評価表作成のプロセス－」『三育学院短期大学紀要』第 34 号（2006，共著）<br>「看護学生夏期留学プログラム－プログラムの歴史と経過－」『三育学院短期大学紀要』第 32 号（2003，単著）<br>**学会発表：**<br>The future of nursing in Japan with a specific focus on Adventist nursing，*Global Partnerships in Nursing 10th Conference*（2013）<br>「臨地実習における使用頻度の高い看護診断ラベル」『日本看護診断学会第 12 回学術大会』（2004）<br>「看護診断の正確度から見た卒後教育評価」『日本看護診断学会第 9 回学術大会』（2001）　その他 |
| 社会貢献 | 東京衛生病院 院内教育プログラム - 新人教育－フィジカルアセスメント（1999-2005） |
| その他 | |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | まつもと　ひろゆき<br>松本　浩幸 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 准教授 |
| 学位 | 社会学修士 |
| 担当科目 | 精神看護学概論、精神看護方法論Ⅰ・Ⅱ、精神看護学実習、<br>基礎看護学実習Ⅰ、総合看護実習、基礎学習セミナー、卒業研究 |
| 専門分野 | 精神看護学 |
| 所属学会 | 多文化間精神医学会　日本精神障害者リハビリテーション学会<br>日本リハビリテーション連携科学学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「就労継続支援Ｂ型事業所を利用する統合失調症者のリカバリーに影響する要因」『順天堂大学医療看護学部 医療看護研究』第 12 巻第 1 号（2015，共著）<br>「精神障害者が商店街宅配サービスで働くことの意味―『人間関係の認識の変化』に焦点をあてて―」『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，共著）<br>「就労を継続する統合失調症のリカバリー―働く生活ストーリー当事者の手記より―」『第 44 回日本看護学会論文集－地域看護－』（2014，共著）<br>「A 看護大学生の精神障害者とホームレスに対するイメージの比較」『三育学院大学紀要』第 6 巻第 1 号（2014，共著）<br>**学会発表：**<br>「買い物宅配サービスに取り組む精神障害者のリカバリープロセス－人とつながり語りあうという体験を通して－」『日本精神障害者リハビリテーション学会第 23 回大会』（2015，共同）<br>「就労継続支援Ｂ型事業所を利用する統合失調症者のリカバリーを推進する要因」『日本精神障害者リハビリテーション学会第 22 回大会』(2014，共同)<br>その他 |
| 社会貢献 | サンネント青森　総会＆交流会「弱さを絆に」講師　NPO 法人サンネント青森（2012）<br>自治労東日本大震災復興支援活動第 5 グループ医療班派遣（相馬市避難所巡回支援）（2011） |
| その他 | 学生部長 |
| 作成日時 | 2015 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | やまもと　おさむ<br>山本　　理 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 准教授 |
| 学位 | Ph.D（博士） |
| 担当科目 | 【看護学科】生物学、生化学、微生物学、保健統計演習、<br>基礎学習セミナー、卒業研究<br>【神学科】生物学Ⅰ・Ⅱ、 |
| 専門分野 | 生物学 |
| 所属学会 | 日本哺乳類学会　米国哺乳類学会　米国野生動物学会<br>地理情報システム学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「大多喜町（千葉県夷隅郡）における野生タヌキの疥癬についての記録」『三育学院大学紀要』第 6 巻第 1 号（2014，単著）<br>「男子寮における過去４年間の外泊届けからみる外泊者の状況」『三育学院大学紀要』第 5 巻第 1 号（2013，単著）<br>「日本人男性牧師のストレス実態－SDA 牧師の生活実態と職業性ストレス簡易調査結果から－」『三育学院大学紀要』第 3 巻第 1 号（2011，共著）<br>**論説：**<br>「種類にしたがって」『サインズ・オブ・ザ・タイムズ』（2014，単著）<br>「聖書と科学の国際会議の報告」『牧羊』（2014，単著）<br>「生命とは何か」『サインズ・オブ・ザ・タイムズ』（2013，単著）<br>**学会発表：**<br>“Landscape Change Affecting Small Mammals in California Inferred by Readily Available Means” 5th International Wildlife Management Congress（2015，単独）<br>「千葉県袖ケ浦市における未利用地の哺乳類調査」『日本哺乳類学会 2014 年度大会』（2014，単独）<br>その他 |
| 社会貢献 | |
| その他 | |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | えんだ　きよみ<br>遠田　きよみ |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 講師 |
| 学位 | 修士（看護学） |
| 担当科目 | 看護技術概論、看護技術各論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、総合看護実習、基礎学習セミナー、卒業研究 |
| 専門分野 | 基礎看護学 |
| 所属学会 | 日本看護診断学会　日本看護科学学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「大学院におけるティーチング・アシスタントの教育体験に関する文献検討」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，単著）<br>『看護学実習においてティーチング・アシスタントをした大学院生の体験』（2015，修士論文）<br>「看護職志望とアイデンティティ地位からみた看護大学生の職業的社会化」『三育学院大学紀要』第 6 巻第 1 号（2014，共著）<br>「SDA 看護教育の原点－『東京衛生病院看護婦学校・東京衛生病院看護学院』の卒業生の語りから―」『三育学院大学紀要』第 6 巻第 1 号（2014，共著）<br>「精神的自立と達成動機からみる看護大学生の特性－A 看護大学における看護基礎教育への示唆－」『三育学院大学紀要』第 5 巻第 1 号（2013，共著）<br>「学生が学んだスピリチュアルケアの要素―科目『スピリチュアルケア』の学生レポートの分析から―」『三育学院大学紀要』第 4 巻第 1 号（2012，共著）<br>**学会発表：**<br>「看護学実習において TA をした大学院生の体験」『第 35 回日本看護科学学会学術集会』（2015，単独）<br>「精神的自立性と達成動機からみる看護大学生の特性―看護基礎教育への示唆―」『第 43 回日本看護学会学術集会（看護総合）』（2012，共同） |
| 社会貢献 | |
| その他 | |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | こんどう　かおり<br>近藤　かおり |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 講師 |
| 学位 | 看護学修士 |
| 担当科目 | 成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ、成人看護学実習Ⅰ、<br>基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、総合看護実習、卒業研究 |
| 専門分野 | 成人看護学 |
| 所属学会 | 日本看護診断学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「三育学院大学看護学部が目指してきた看護とは―2014 年度看護誓詞宣誓式の振り返りを通して―」『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，共著）<br>「看護学生による e ラーニングシステム『ムードル』の利用状況とその反応」『三育学院大学紀要』第 4 巻第 1 号（2012，共著）<br>「成人看護学教育研究の動向　その 2―過去 5 年間の文献の研究内容の分析―」『三育学院短期大学紀要』第 37 号（2008，共著）<br>「成人看護学教育研究の動向　その 1―過去 5 年間の文献の経年的変化から―」『三育学院短期大学紀要』第 36 号（2007，共著）<br>**翻訳：**<br>『基本から学ぶ看護過程と看護診断（第 7 版）』（医学書院，2012，分担翻訳）<br>その他 |
| 社会貢献 | |
| その他 | ルーテル学院大学介護技術演習助手（2012） |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | にいづま　のりえ<br>新妻　規恵 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 講師 |
| 学位 | 修士（文学） |
| 担当科目 | 【看護学科】英語Ⅰ・Ⅱ、Ⅲ、基礎学習セミナー、卒業研究<br>【神学科】英文法Ⅰ・Ⅱ |
| 専門分野 | 英語教育 |
| 所属学会 | 全国語学教育学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「基礎学習セミナーにおける教育効果の検討」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，単著）<br>「学修センター2 年目の活動報告」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>“A Case Study of Japanese College EFL Students Learning to Retell Narrative Stories through Guided Instruction”『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，単著）<br>「学修センター開設初年度の中間報告」『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，共著）<br>その他 |
| 社会貢献 | |
| その他 | 学修センター長 |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | みどりかわ　きくよ<br>緑川　喜久代 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 講師 |
| 学位 | |
| 担当科目 | 地域看護学概論、地域看護方法論、対象別支援技術論、<br>公衆衛生看護活動展開論、公衆衛生看護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ<br>地域看護学実習 |
| 専門分野 | |
| 所属学会 | |
| 研究業績 | **論文：**<br>「実習生の報告 保健師活動における地域診断の必要性 ： 地域看護学実習での体験から考える」『三育学院大学紀要』第 4 巻第 1 号, (2012, 共著) |
| 社会貢献 | |
| その他 | |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | やまだ　　よしみ<br>山田　よしみ |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 講師 |
| 学位 | 修士 |
| 担当科目 | 母性看護学実習、総合看護実習、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ |
| 専門分野 | 母性看護学 |
| 所属学会 | 日本思春期学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「看護学生の高齢者イメージ―老年看護学概論の授業を通して明らかになった点―」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>『親子の関係性と性行動との関連性、および中学生の selfesteem との関連性の検討』（2013，修士論文） |
| 社会貢献 | |
| その他 | |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | しのはら　よしこ<br>篠原　良子 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 特任講師 |
| 学位 | 修士（保健医療学） |
| 担当科目 | 母性看護学概論、母性看護方法論Ⅰ・Ⅱ、卒業研究 |
| 専門分野 | 母性看護学、助産師を取り巻く環境 |
| 所属学会 | 日本母性衛生学会　日本母性看護学会　国際医療福祉大学学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「アクティブラーニングに関する文献的考察―母性看護学領域における効果的活用に向けて―」『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，単著）<br>「日本の助産師自身が感じる助産業務をめぐる状況―自由記述内容の分析から―」『三育学院大学紀要』第 6 巻第 1 号（2014，単著）<br>「助産師の自尊感情と職場環境の関連性」『三育学院大学紀要』第 5 巻第 1 号（2013，単著）<br>「日本における助産師の職務行動への影響要因」『医療保健学研究』第 2 号（2011，単著）<br>「バイタルサイン測定における看護学生の対象理解の変化－小児看護学実習を通して－」『医療保健学研究』第 2 号（2011，共著）<br>『助産師の職務認識と実際行動』（2008，修士論文）<br>**学会発表：**<br>「病院に勤務する助産師の職場環境と業務内容の現状（第 1～2 報）」『第 56 回日本母性衛生学会総会・学術集会』第 7 巻第 1 号（2015，共同）<br>「助産師の職務認識と実際行動の構造」『第 52 回日本母性衛生学会総会・学術集会』（2011，共同）<br>「職務認識と実際行動からみた助産師の 4 類型の分析 ： 病院,診療所,助産所の比較」『第 51 回日本母性衛生学会総会・学術集会』（2010，単独）<br>「助産師の職務認識と日常業務に影響する要因」『第 12 回日本母性看護学会学術集会』（2010，単独）　その他 |
| 社会貢献 | 長夷地区部会看護研究研修会講師（2014~）<br>日本母性衛生学会学術集会査読委員（2014） |
| その他 | |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | おがわ　まなみ<br>小川　真奈美 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 助教 |
| 学位 | |
| 担当科目 | 小児看護学実習、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、総合看護実習 |
| 専門分野 | 小児看護学 |
| 所属学会 | 日本看護協会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「ASDの児を持つ母親の苦悩とそれを乗り越えていく力(レジリエンス)についての文献的研究」『三育学院大学紀要』第 6 巻第 1 号（2014, 共著） |
| 社会貢献 | 杉並区裕和幼稚園　夏季合宿医務係 |
| その他 | ルーテル学院大学 非常勤講師 |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | おだ　ともこ<br>小田　朋子 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 助教 |
| 学位 | |
| 担当科目 | 在宅看護論実習、産業保健、公衆衛生看護実習Ⅲ（学校保健・産業保健）、総合看護実習 |
| 専門分野 | 産業保健 |
| 所属学会 | 日本産業衛生学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「領域別看護学実習におけるグループ学習の形態が学生におよぼす影響について―第 1 報　固定グループで学習した学生を対象に―」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>「A 看護大学における国家試験合格に向けての取り組みとその結果について―2014 年度国試対策とその結果から―」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>「セブンスデー・アドベンチスト教団牧師の生活とストレス実態 2」『牧羊』2015 年冬季号（2015，共著）<br>「日本人男性牧師のストレス実態（2）一般男性労働者との比較」『三育学院大学紀要』第 4 巻第 1 号（2012，共著）<br>「日本人男性牧師のストレス実態－SDA 牧師の生活実態と職業性ストレス簡易調査結果から－」『三育学院大学紀要』第 3 巻第 1 号（2011，共著）<br>「セブンスデー・アドベンチスト教団・牧師の生活とストレス実態」『牧羊』2011 年夏季号（2011，単著）<br>**学会発表：**<br>「在宅看護論実習における学び―考察記録の分析から―」『第 43 回日本看護学会学術集会（看護教育）』（2012，共同）<br>「教会で働く牧師のストレス実態－職業性ストレス簡易調査の分析から―」『第 32 回全国地域保健師学術研究会』（2010，共同） |
| 社会貢献 | 川崎市内の小学校・高等学校における喫煙防止教育（2011-） |
| その他 | |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | やまぐち　みちこ<br>山口　道子 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 助教 |
| 学位 | 学士 |
| 担当科目 | （国内研修中） |
| 専門分野 | 基礎看護学 |
| 所属学会 | 日本看護診断学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「A 看護大学における国家試験合格に向けての取り組みとその結果について―2014 年度国試対策とその結果から―」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>「三育学院大学の看護学教育を振り返る―先輩教員へのインタビューから―」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>「三育学院大学看護学部が目指してきた看護とは―2014 年度看護誓詞宣誓式の振り返りを通して―」『三育学院大学紀要』第 7 巻第 1 号（2015，共著）<br>「SDA 看護教育の原点－『東京衛生病院看護婦学校・東京衛生病院看護学院』の卒業生の語りから―」『三育学院大学紀要』第 6 巻第 1 号（2014，共著）<br>「看護職志望とアイデンティティ地位からみた看護大学生の職業的社会化」『三育学院大学紀要』第 6 巻第 1 号（2014，共著）<br>「精神的自立と達成動機からみる看護大学生の特性－A 看護大学における看護基礎教育への示唆－」『三育学院大学紀要』第 5 巻第 1 号（2013，共著）<br>「学生が学んだスピリチュアルケアの要素―科目『スピリチュアルケア』の学生レポートの分析から―」『三育学院大学紀要』第 4 巻第 1 号（2012，共著）<br>**学会発表：**<br>「精神的自立性と達成動機からみる看護大学生の特性―看護基礎教育への示唆―」『第 43 回日本看護学会学術集会（看護総合）』（2012，共同） |
| 社会貢献 | |
| その他 | 高校生を対象にした禁煙教室（2014） |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | すげさわ　ゆみ<br>菅沢　由美 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 特任助教 |
| 学位 | 医療福祉学修士 |
| 担当科目 | 老年看護学実習 |
| 専門分野 | |
| 所属学会 | |
| 研究業績 | |
| 社会貢献 | |
| その他 | |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>教員名 | まつもと　ふみ<br>松本　文美 |
| 所属・職位 | 三育学院大学 看護学部 助手 |
| 学位 | Bachelor of Science in Nursing (BSN)<br>Master of Science in Nursing Major Candidate (MSNc) |
| 担当科目 | 成人看護学実習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ |
| 専門分野 | 成人看護学 |
| 所属学会 | 日本看護科学学会 |
| 研究業績 | **論文：**<br>「領域別看護学実習におけるグループ学習の形態が学生におよぼす影響について―第 1 報　固定グループで学習した学生を対象に―」『三育学院大学紀要』第 8 巻第 1 号（2016，共著）<br>「ホスピス看護師が知覚する終末期がん患者のスピリチュアルペイン―ホスピス看護師へのグループインタビューの分析から―」『三育学院大学紀要』第 6 巻第 1 号（2014，共著）<br>「わが国の看護領域におけるスピリチュアリティに関連する文献検討」『三育学院大学紀要』第 2 巻第 1 号（2010，共著）<br>「A 病院におけるスピリチュアルケアにかかわる看護実践―16 事例が示唆するもの―」『三育学院大学紀要』第 2 巻第 1 号（2010，共著）<br>「E. J. Taylor 著『スピリチュアルケア―看護のための理論・研究・実践―の抄読会の検討』」『三育学院大学紀要』第 2 巻第 1 号（2010，共著）<br>**学会発表：**<br>「正座が日常生活に及ぼす影響について―茶道のポジショニングに視点を当てて―」『第 49 回日本成人病（生活習慣病）学会』(2015，共同） |
| 社会貢献 | ADRAJapan ネパール口唇口蓋裂治療プロジェクト参加（2012）<br>ADRA Japan 熊本地震被災地支援（2016） |
| その他 | Loma Linda University International Master’s Off Campus Program（看護教育学修士課程）2015～在学中 |
| 作成日 | 2016 年 5 月 1 日 |